令和8年度　補正予算

議案第54号 可決　一般会計（第2号）

国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、防犯カメラ設置費用を補助するため、歳入歳出それぞれ2042万4千円を追加し、予算の総額を215億9706万6千円としました。

問　防犯カメラ設置事業について、3月定例会一般質問では、プライバシーや情報管理、費用等の課題から公共の場への設置を優先し、家庭用の設置に係る補助金は先進事例の調査を進めるとの答弁があった。今回、家庭用の助成開始に結びつけることができた理由は。

答　近隣市での状況を参考に、国の交付金を活用して実施する。実施に当たっては、補助申請者に対し、他人のプライバシー保護を考慮した撮影範囲とするほか、撮影した画像等を適切に管理することなどへの同意書の提出を求めていく。



議案第61号 可決　一般会計（第3号）

歳入歳出それぞれ3億619万5千円を追加し、予算の総額を219億326万1千円としました。

問　総合運動公園維持管理事業で、今年度から導入している指定管理の状況はどうか。

答　自主事業に積極的に取り組んでいただき、施設のPRとなっている。また、樹木は、指定管理者が低・中木の剪定を行い、市が3m以上の高木の剪定を行うが、指定管理者が常に見回りをし、安全管理を行っている。

問　道路の維持補修は、順位付けを行い実施しているが、今後の当初予算の編成に向けて、近年の雨などによる想定以上の舗装の劣化状況を加味し、計画路線に次点路線を加え予算確保をしていくのがよいのではないか。

答　舗装工事は、優先順位の高い所から行っているが、突発的に対応する必要のある路線については順番が前後することもある。しかし、適正に道路を管理する必要があるため、1件でも多く当初予算の要望を行い予算化し、適正に管理していきたいと考えている。

議案第64号 可決　介護保険（第2号）

歳入歳出それぞれ1億7195万1千円を追加し、予算の総額を44億3549万円としました。

問　地域密着型介護予防サービス費の増額の理由は何か。

答　介護予防小規模多機能型居宅介護やグループホームを利用する要支援認定者について、新規利用が増えたことにより、給付費が増額となるものである。

問　第1号被保険者保険料還付金を増額する理由は何か。

答　税務課での所得減額更正に伴う還付金や、日本年金機構への返還金額が予想より多かったことから、増額対応するものである。

議案第65号 可決　白岡駅東部中央土地区画整理事業（第2号）

歳入歳出それぞれ1790万円を追加し、予算の総額を3億7892万9千円としました。

問　物件等補償事業で、電柱移設に係る補償費1790万円について、通常1本の移設につき、50～60万円程度と想定される。詳細を伺う。

答　都市計画道路白岡駅東口線に係る新たな電柱設置について、沿線権利者との協議が整わないため、電線ルートの見直しを行った。ＮＴＴは道路照明に係る移設を含めて6本、東京電力は6本の移設と白岡中央大橋南側の街区に係る約500万円の電線の張替えである。

議案第66号 可決　公共下水道事業（第1号）

収益的収入202万8千円及び同支出572万8千円を増額し、資本的収入2090万円を減額しました。

問　資本的収入の他会計出資金において、2090万円の減額となった詳しい説明を。

答　公営企業会計は基準外繰入金を受け入れて経営しているため、必要十分以上の資金を保有しないようにしている。決算時点で最低限必要な翌年度の支出に使用できる資金を超えて保有した資金を、繰入金の減額という形で一般会計に返金している。

（編集・レイアウト担当　寺戸・菱沼）